

1. 科目名 (単位数)	保健医療 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP1302 SSMP1102 PSMP1402
2. 授業担当教員	吉岡 英雄		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>疾病構造の変化や人口の高齢化、医療施設から在宅医療への流れが進んでいる現在、保健医療に係る政策や制度はより現状に即したものに変わっていく必要がある。この科目では医療保険制度の概要と医療費に関する政策的動向、診療報酬制度の概要、保健医療に係る各専門職の役割や多職種連携についての基礎的な理解を深めるとともに、保健医療の課題を持つ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。インフォームドコンセントやアドバンス・ケア・プランニング (ACP)、尊厳死や身体抑制の問題など保健医療に係る倫理的問題についても学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療の動向を理解し、説明することができるようになる。 2. 保健医療に係る政策、制度 (医療保険制度や診療報酬制度も含む)、サービスについて理解し、説明することができるようになる。 3. 自己決定権の尊重や尊厳死など保健医療に係る倫理について理解し、説明することができるようになる。 4. 保健医療領域における各専門職の役割と、連携や協働について理解し、説明することができるようになる。 5. 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるようになる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>小テスト・レポートを実施する。 レポート課題は授業内にて提示する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 5 保健医療と福祉』中央法規、2021</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度及び診療報酬制度の概要、医療費に関する政策的動向を理解し、説明することができるか。 2. 保健医療における各専門職の役割と連携、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるか。 <p>○評定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業態度 (参加・実践・小テスト等) 30% 2. 期末試験・レポート等 70% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>保健医療政策の動向や社会情勢について理解することは重要である。この講義を受講する前提として、常に新聞やニュース等を確認することを勧めたい。毎回、講義の時には講義内容の振り返りシートの作成と同時に最近の保健医療分野や社会の状況についての各自が関心を持った記事やニュースについてコメントを書いてもらうことにする。教科書上の学習と実際の生活との接点を見出せることが、保健・医療・福祉の理解を深めていくことに繋がっていく。利用者・患者の QOL の向上に貢献できるソーシャルワーカーのあり方について一緒に考えていきたい。</p> <p>[出欠席について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず遅刻・早退する場合は、その理由を申し出ること。 ・出席不足となった場合は、本学の学則に従って対応する。 ・教科書は必ず購入しておくこと。 		
13. オフィスアワー	<p>授業前後の時間。これ以外の時間については、教務課に相談しアポイントを取ること。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	<p>オリエンテーション (講義概要の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療サービス分野での利用者 (患者・家族) を理解するとは? ・医療機関という「場」とは? 	事前学習	医療機関という「場」について考えをまとめてくる。
		事後学習	患者を理解するとはどのようなことを指すかをノートにまとめること。
第 2 回	<p>保健医療サービスの担い手を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各医療専門職の役割 ・医療ソーシャルワーカーの役割 	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	医療ソーシャルワーカーの役割とその視点についてノートにまとめること。
第 3 回	<p>医療ソーシャルワーカー業務指針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカー業務指針ができるまでの歴史 ・医療ソーシャルワーカー業務指針の意味・概要 	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	医療ソーシャルワーカー業務指針改訂が行われた背景についてノートにまとめること。
第 4 回	<p>保健医療サービス機関を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設の概要 (医療法上における医療機関の分類) ・診療報酬による病床の分類、医療機関の組織 	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	医療施設の類型と医療機関の機能分化をノートにまとめること。
第 5 回	<p>保健医療サービス制度体系を理解する①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度の概要 (各種公的医療保険、公的負担医療) 	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	自身の加入している医療保険は何かを調べる。

第6回	保健医療サービス制度体系を理解する② ・診療報酬制度の意味とその概要について	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	患者が入院した場合の医療費がどのようなプロセスを経て医療機関に支払われていくかを時系列に書き出すこと。
第7回	保健医療サービス制度体系を理解する③ ・医療保険制度と介護保険制度の関係 (医療制度改革の変遷、医療と介護の連携、後期高齢者医療制度と介護保険の関係)	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	第4次医療制度改革後の患者は医療保険と介護保険をどのように使い分けていくことになったかノートにまとめること。
第8回	保健医療サービス制度体系を理解する④ ・保健医療対策の概要 (医療供給体制・地域保健サービス体系・母子保健医療対策・メタボリックシンドローム予防のための特定健診と特定保健指導)	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	医療法の中の医療提供体制についてノートにまとめること。
第9回	保健医療サービス関係者との連携の実際① ・各医療関連専門職種との連携の意味について (医師・看護師・保健師・理学療法士と作業療法士・薬剤師) ・患者の治療と療養生活支援のための連携	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	各医療関連専門職種との「地域連携パス」の具体的な流れを図示しておくこと。
第10回	保健医療サービス関係者との連携の実際② ・チーム医療における連携 (栄養サポートチーム・緩和ケアチーム・退院支援チーム・当事者参加型チーム・市民参加型チーム) ・地域医療における連携	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	ホームページを持っている自身の地域の医療機関を探し、どのような院内・地域連携を行っているか調べておくこと。
第11回	保健医療サービス関係者との連携の実際③ ・地域の社会資源との連携 (社会資源とは何か・調査と収集・社会資源活用と留意点など)	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	自身の地域の社会資源を調べて整理し分類しておくこと。
第12回	保健医療サービスにおける今後の課題と展望① ・保健医療サービスにおける今後の課題と展望 ・社会サービスとしての保健医療サービスの必要性 ・医療サービスの拡大と医療費の増大 ・保健医療サービスの利用が困難な人々	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	課題1：地域福祉・地域医療が重要視されるようになった理論的背景である「ノーマライゼーション」について調べる(A4 2枚程度)
第13回	保健医療サービスにおける今後の課題と展望② ・地域・在宅医療に向けて ・在宅医療ソーシャルワーク ・地域医療ソーシャルワーク、この実践に求められるもの	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	退院援助に至るプロセスにそって行われる在宅医療ソーシャルワークについてノートにまとめること。
第14回	保健医療分野での事例学習① ・医療ソーシャルワーカーの働き ・医療ソーシャルワークを展開するための心構え ・心構えを実現するための技法について	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	課題2：解決構築アプローチで支援を行う上での三原則について具体的な場面を考えて説明すること(A4 2枚程度)
第15回	保健医療分野での事例学習② ・機関別医療ソーシャルワーカーの働き (特定機能病院・一般病院・総合リハビリテーションセンター・回復期リハビリテーション病院・地域医療支援病院・在宅療養支援診療所など)	事前学習	テキストを熟読し、疑問点等をノートにまとめておくこと。
		事後学習	機関別医療機関の事例を再読すること。
期末試験			